

問い合わせ先

第十管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課

課長 深江邦一

電話099-250-9800（内線2530）

平成17年9月30日

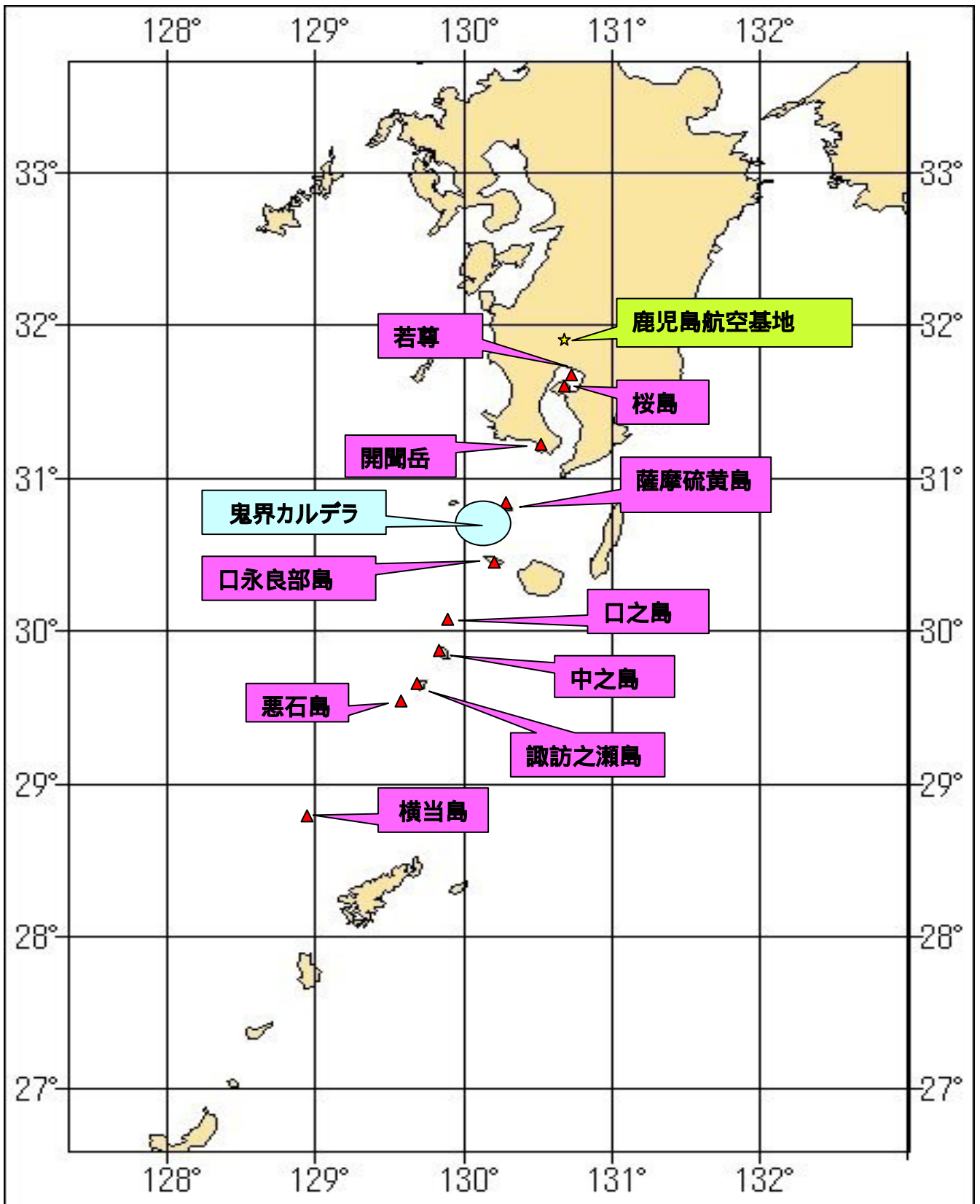
第十管区海上保安本部

南西諸島の火山調査を実施

海上保安庁海洋情報部では、火山噴火予知業務の一環として航空機による南西諸島海域火山の調査を下記のとおり行います。

記

1. 調査時期 平成17年10月下旬から11月上旬（内1日）
2. 調査場所 若尊、桜島、開聞岳、薩摩硫黄島、鬼界カルデラ、口永良部島、口之島、中之島、諏訪之瀬島、悪石島、横当島
3. 調査内容 (1) 地形変動・変色水調査
熱画像装置による温度測定、デジタルビデオカメラによる撮影及び目視観測
(2) 航空磁気測量
鬼界カルデラにおいて航空機搭載プロトン磁力計による磁気測定
4. 航空機 第三管区海上保安本部羽田航空基地所属LA701号機(YS-11A)
5. 調査員 海上保安庁海洋情報部、第十管区海上保安本部海洋情報部
京都大学桜島観測所、鹿児島大学理学部
6. 成果の公表 火山噴火予知連絡会会報、第十管区海上保安本部海洋情報部HP



海上保安庁が火山監視を行う理由

平成15年7月24日付けの第7次火山噴火予知計画（平成16年～20年）の推進について（建議）の中で、海上保安庁海洋情報部は南方諸島及び南西諸島の海域火山について、航空機による定期巡回監視を行うとされている。

海域火山とは

海底火山や火山島及び海域に影響を与える陸域火山。

火山の磁気を測定する理由

磁石を熱すると磁気が無くなる現象が起こりますが、一般に火山は強い磁気を持つ岩石により構成されており、マグマや高温ガスの上昇などでその磁場が変化し地磁気異常が起こります。このことから火山状態を知ることができます。

鬼界カルデラとは

鬼界カルデラは鹿児島県南方の薩摩竹島と薩摩硫黄島を陸上のカルデラ縁の一部とするカルデラでそのほとんどが海没しています。6300年前に噴煙柱の崩落による大規模な火砕流（規模は雲仙普賢岳の数10万倍に相当）が発生しその時上空高く舞い上がった火山灰は東北地方まで達しました。その時の火山灰をアカホヤ火山灰といい地層の年代決定に使用されています。なお、海上保安庁海洋情報部は今年度から測量船による鬼界カルデラの詳細な調査を計画しています。

LA701号機とプロトン磁力計

